

## 目 次

### I. 総括研究報告

がん診療連携拠点病院等の適切な評価のあり方	-----	5
-----------------------	-------	---

研究代表者 宮代 勲 大阪国際がんセンター がん対策センター 所長

【別添】 資料1

### II. 分担研究報告

1. 定量的評価のため既存資料を有機的に連携活用する基盤の整備	-----	12
---------------------------------	-------	----

研究分担者 森島敏隆 大阪国際がんセンター がん対策センター 政策情報部 副部長

2. 大阪府における小児・AYA世代のがんの診療実態調査	-----	20
------------------------------	-------	----

研究分担者 中田佳世 大阪国際がんセンター がん対策センター 政策情報部 副部長

3. 不確実性を考慮した医療の構造、過程、結果を解析する手法の検討に関する研究	-----	28
---	-------	----

研究分担者 佐藤 亮 大阪国際がんセンター がん対策センター 政策情報部 リーダー

4. 病院及び地域の特性に応じたがんアウトカムの分析：		
-----------------------------	--	--

難治性がんの医療施設別手術件数 (Hospital surgical volume) と予後との関連	----	40
--	------	----

研究分担者 田淵貴大 大阪国際がんセンター がん対策センター 疫学統計部 副部長

研究協力者 谷山祐香里 大阪大学大学院医学系研究科 数理保健学 大学院生

5. 病院の診療実績を考慮したがん患者の実態把握	-----	51
--------------------------	-------	----

研究分担者 小山史穂子 大阪国際がんセンター がん対策センター 疫学統計部 医員

6. がん診療連携拠点病院制度とがん医療均てん化に関する分析	-----	57
--------------------------------	-------	----

研究分担者 大川純代 大阪国際がんセンター がん対策センター 疫学統計部 生物統計研究職

7. ソーシャルメディアを用いた病院の医療提供体制に関する評判・風評調査	-----	65
研究分担者	荒牧英治	奈良先端科学技術大学院大学 研究推進機構 特任准教授
8. 通院時間に基づくがん患者の動向調査	-----	69
研究分担者	若宮翔子	奈良先端科学技術大学院大学 研究推進機構 特任助教
9. 標準治療実施率が生存率に与える影響： Period 法を用いた長期生存率の時系列変化における変曲点の同定	-----	75
研究分担者	藤井 誠	神戸女子大学 看護学部看護学科 助教
III. 研究成果の刊行に関する一覧表	-----	80